

令和 8 年 6 月 8 日

見附市議会議員 様

見附市議会議員 樺澤 直純

## 一 般 質 問 通 告 書

下記のとおり質問したいので、会議規則第 6 1 条第 2 項の規定により通告します。

質問事項 (主題を記載してください。議場配布の一覧表に印刷)

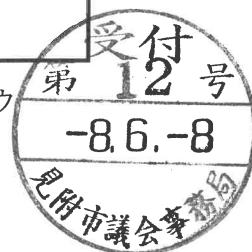
## 【 1 】 学校を中心としたまちづくりについて

答弁を求める者 市長・教育長

文科省は近く、「公立小中学校の適正規模・適正配置に関する手引」を初めて改訂し、自治体の区域を越えた統廃合の検討のあり方などについての考え方を新たに追加するようです。少子化に歯止めがかからない状況を踏まえ、文科省は公立小中学校の統廃合を検討するよう自治体に働きかけを強めるとし、小学校と中学校が 1 校しかない市町村に、別の自治体の学校との統合協議を促し、協議の行方によっては、学校のない地域が増える可能性があります。財務省もまた「統廃合を適切に行うことが必要不可欠」と厳しい姿勢を示し、財政再建やリソースの最適化という観点から見れば、今後は維持困難な小規模校の統廃合は避けては通れない「現実的かつ合理的な判断」と言えるのかもしれませんが。

学校再編を学校施設の老朽化や少子化、近年の出生数から考える視点や、将来的な財政状況から考える視点などがありますが、見附市では、人口減少と財政状況を踏まえ、将来的に小学校を 4 ～ 6 校、中学校を 1 校へ再編する方針が示されています。これは市の持続可能性を守るための重要な判断である一方、「教育の質が下がるのではないか」「通学が大変になるのではないか」「まちの魅力が失われるのではないか」といった不安の声が市民から聞こえています。しかし、再編を「単なる統廃合」と捉えるのではなく、教育と見附市の強みである健幸施策を融合させ、学校再編が「縮小」ではなく「未来への投資」と捉える大きな機会ではないのかと私は考えています。

※ 番号のつけ方 (大項目) 1 2 3 (中項目) (1) (2) (3) (小項目) アイウ



そこで、例えば学校とスポーツ、文化施設を一体化した、「ウエルネスパーク構想」について、以下いくつかお尋ねし、当市の見解をお聞きいたします。

## 1 教育環境の質向上と財政の持続可能性について

- (1) 見附市学校適正配置計画から、今後の中学校1校化による教育の質向上について、市としてどのような想定であるかを伺います。
- (2) 中学校1校が新設校舎となった場合、省エネ設計や複合化によるLCC削減効果について、市としてどのくらいの財政メリットと考えるか。現時点での考えがあれば伺います。また、新設と既存施設維持の比較で、今後の予定している段階的な中学校統合時期から50年後までの期間で、総費用がどの程度の違いがありそうか、現時点で示せる範囲での試算を伺います。

## 2 ウエルネスパーク構想について

複合化することで、「専門指導の充実」「部活動の地域展開への対応」「市民の健康づくり」「多世代交流」といった、学校単体では得られない価値が生まれると考えています。学校とスポーツ・文化施設を一体化することについて、様々なメリット（部活動の地域展開において、その活動の円滑性など）があり、多世代交流と市民メリットについて、最新設備を全市民で共有、多世代が混ざり合う、まちの交流拠点ともなり、こどもとシニアが自然に交わる環境は、健幸政策の深化にもつながります。仮にウエルネスパークが実現した場合、どのような効果をもたらすことが想定できそうか伺います。

## 3 財政・法的整理・運営体制などについて

※ 番号のつけ方 (大項目) 1 2 3 (中項目) (1) (2) (3) (小項目) アイウ

ウエルネスパークの実現における課題として、「複合施設の建設・維持管理体制」「通学手段の確保」「外部指導者の法的整理」「専門指導者の確保」「人件費の負担主体」などが主に考えられますが、これらの想定について、市としてどのように考えられるか市の見解を伺います。

#### 4 見附市の未来をどう描くのかについて

この街で育った子どもたちが「見附に住んでいて良かった」と胸を張れる未来のために」学校はまちの未来であり、「ウエルネスパーク構想」は、市民の健幸を支える拠点ともなり、教育と健幸を融合させた「見附モデル」となり得ます。また、市民が求めているのは「見附の未来をどう具体的に描くのか」という実像だと考えます。10年後、20年後の見附市の姿をどのように考えているのか、市の見解をお聞きいたします。

質問事項 (主題を記載してください。議場配布の一覧表に印刷)

【2】 みつけイングリッシュガーデンの夜間活用について

答弁を求める者 市長

みつけイングリッシュガーデンは、英国園芸研究家・ケイ山田氏監修の本格的な英国式庭園であり、市民ボランティアとの協働運営やイギリスで開催されたブリテンイングルームの「ゴールドコミュニティ賞」の受賞など、全国的にも高い評価を受けている、本市を代表する観光資源であると考えます。しかしながら、現在の活用は主に昼間に限られており、夜間の魅力発信やナイトタイムエコノミー（日没から日の出までの夜間、一般的に18時から翌6時の間に行われる経済活動全般などを指します）の創出といった観点では、まだ十分に活かされていないのではないかと考えます。

県内外でも新たな価値を引き出す取り組みとして、色々な形でナイトタイムエコノミーの創出が行われているようですが、これには観光振興、地域経済の活性化、ブランド力向上、市民協働など、多方面で効果が期待できるものと受け止めています。そうした状況を踏まえて以下、お伺いいたします。

1 市の現状認識について

イングリッシュガーデンの夜間活用について、市はどのような考えをお持ちなのかお伺いいたします。特に、今後には飲食エリアの「メグカフェ511」のテイクアウトコーナー設置に関して、市からは多くの支出を要するようですので、「夜間の集客の可能性」「ナイトタイムエコノミーの創出」「若年層や市外からの誘客」といった観点で、現状をどのように評価しているのかお聞かせください。

※ 番号のつけ方 (大項目) 1 2 3 (中項目) (1) (2) (3) (小項目) アイウ

## 2 今後の検討について

例えば、夜間ライトアップイベントなどを実施するための「実現可能性の調査」「事業スキームの検討」「民間事業者との連携」「安全対策や運営体制」など、どのようなことが想定されると考えられるか、また、市内その他の施設での実施可能性など、将来的な今後の市の考えをお聞かせください。

## 見附市の学校再編計画と反応

学校再編:急激な人口減少の中で、教育環境の充実を実現するための手段の一つ

- 1 中学校:令和21年度以降に1校へ  
小学校:将来的に4~6校へ
- 2 こどもたちの環境変化による心理的負担のケア
- 3 交通手段の確保
- 4 時代・環境に即した設備の整備

学校再編により  
将来に渡って見附市民が健幸に暮らせる  
**持続可能な基盤づくり**

### 【市民の不安】 ※パブリックコメントより

- ☹ 教育の質への不安
- ☹ まちの魅力へ低下への不安
- ☹ 通学への不安

不安をエネルギーに、新たな希望へ

## 再編の鍵 学校と市スポーツ施設の融合

💡 将来を見据えた次世代拠点の新設

» 「教育(中学校)」と「健幸(スポーツ・文化施設)」を集約

**ウェルネスパーク構想(見附モデル確立)**

3つのPOINT

- 💡 教育の質と財政の「**持続可能な教育環境**」の整備
- 💡 市が推進する「**健幸政策**」の深化
- 💡 スマートウェルネスみつけと連動した「**選ばれるまち**」の推進

持続可能

かつ

次世代から  
選ばれるまちへ

不安を払拭する  
投資的整備

## POINT 1 教育環境の整備

💡 教育の質と財政バランスを両立する「**次世代設計**」

### ✓ 教育の質

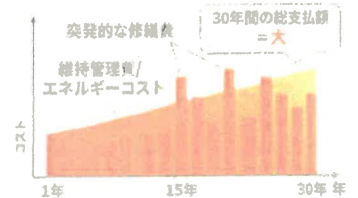
- ・1校集約による**教員の最適化**
  - スポーツ・文化施設からの専門的指導が可能
  - 新たな設備での質の高い教育環境
  - 教員の負担軽減**

### ✓ 財政バランス

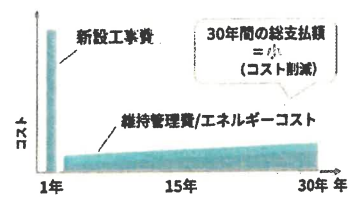
- ・新設、集約による**将来的支出の削減(LCC最適化)**
  - 学校への体育館設置が不要でコスト削減※
  - 最新の省エネ設計・メンテナンス性で将来的コスト削減

※中学校設置基準の「運動場・体育館」の設置義務をクリアする必要あり

#### 既存施設活用の場合



#### 施設新設の場合



※図はイメージです

## POINT 2 健幸政策の深化

💡 全世代が交流できる「**健幸の拠点**」へ



### ✓ 多世代が「**健幸**」で繋がるコミュニティの創出

- ≫ 日常的な交流の場 → こころの健康も支える  
こどもの活気とシニアの活動が交わる「多世代交流の促進」

### ✓ 部活動の地域移行と「**教育の質**」の同時解決

- ≫ 専門施設での専門指導(指定管理者等)  
地域の専門指導員・こどもが活動しやすい環境で密接な連携が可能

### ✓ スマートウェルネス拠点の高度化

- ≫ 最新設備の全市民共有  
最新の設備等を市民と共有することで、効果的な健康づくりを推進

## POINT 3 選ばれるまちへ

☀ 見附のシンボルとなり、「**選ばれるまち**」へ

- ✓ 市民と「**健幸**」を守るランドマーク化
  - » 安心できる・自慢したいシンボル  
防災設備も備えた市民が誇れる施設にすることで、見附の象徴へ
- ✓ 移住・定住の鍵「**教育×健幸**」ブランド
  - » 子育て世帯の可処分時間の創出 → まちの価値へ  
放課後までの指導が同施設で完結可能な長所がまちの魅力・活力へ
- ✓ 「**人が集まり、人が育つ**」まちへ
  - » 魅力的な施設での移住増加へ  
こどもだけでなく、市民、指導者も醸成されるまちへ

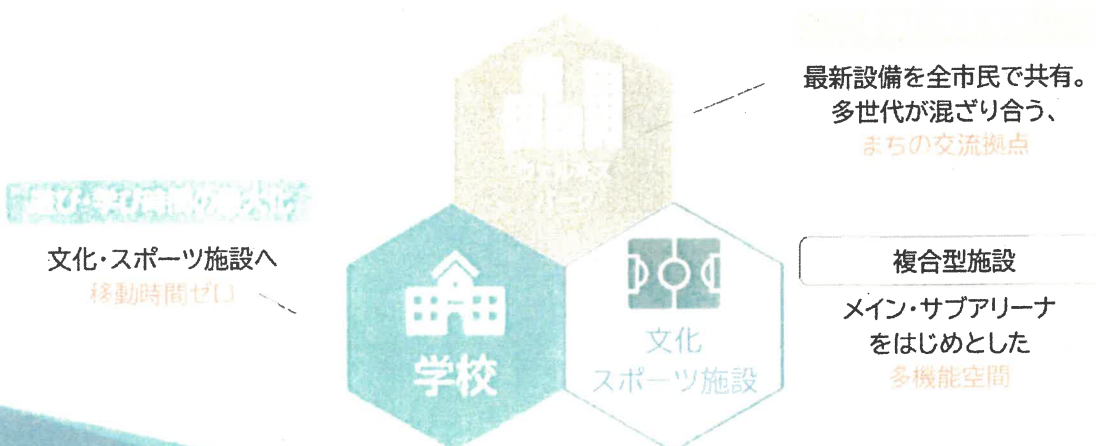
近隣の  
不動産価値  
UP!

唯一無二の  
選ばれるまち  
「見附市」

## ウェルネスパークの設計

☀ 学校とパークが「**接続**」する大型拠点

▼パークの中に学校、文化スポーツ施設を設置



小学校の校外学習や  
交流学习への  
活用も可能

ICTラボ設置や  
スタジオ設置により、  
さらなる価値向上も可能



# クリアすべき課題

計画についてクリアすべき課題は多い

## 財政的課題

- 1 →複合施設のため、建設費、維持費、管理費の一元管理が困難  
→人件費を「誰が」負担するのか。(行政？受益者？)

## 通学の負担

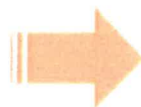
- 2 →スクールバス運用等、遠方の通学手段確保

## 法的ハードルの突破

- 3 →学校授業を外部団体が担うことの法的制限

## 指導者の確保

- 4 →専門的な指導者の確保と育成



唯一無二の  
選ばれるまち  
「見附市」  
実現へ

# 結び：見附の未来は、みんなで創る

学校は、まちの未来。パークは、みんなの健幸。



「将来を見据えた投資」で、持続可能な財政へ

設備維持費やランニングコストを考慮し、将来に渡って魅力を創出し続ける施設へ



「高水準の教育環境」を見附の日常へ

教育と健幸の融合により、国内で類を見ない高度な教育環境へ



「まちのシンボル」を誇りに、次世代へ繋ぐ

教育と健幸の充実で、次世代へと続いていく見附市へ



この街で育ったこどもたちが

「見附に住んでいて良かった」と胸を張れる未来のために